▶例会日：第１・第３木曜日（12：30）
その他の木曜日（18：30～19：30）
▶例会場：白河市新白河駅前　東京第一ホテル新白河
▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5
（白河商工会議所内）　☎23-3101　FAX22-1300
ホームページURL　https://shirakawa-west-rc.jp
メールアドレス　yoshida@shirakawa-cci.or.jp
facebook　https://www.facebook.com/ShirakawaWestRotaryClub/

Rotary　UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025～26年度　国際ロータリー会長メッセージ

会　長　藤田　龍文
幹　事　運天　直人

創立１９８６年

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1867回例会

令和7年9月4日
12:30～13:30

創立40周年

○ソング
　●君が代、奉仕の理想
○ビジター
　●城d'白河実行副委員長　鈴木光顕様、緑川順子様
○スマイルBOX
　●藤田龍文会長（本日は城ｄ'白河実行委員長の皆様、御来訪ありがとうございました。ホームミーティング報告、ありがとうございました。）
　●運天直人幹事（城ｄ'白河実行委員の皆様ようこそ。またホームミーティングの発表の皆様お疲れ様です。）
　●沼田重一会員（ホームミーティングの各班長さん、ご苦労様でした。私の班も話し短く、飲みは長く楽しい時間でした。）
　●長克則会員（ホームミーティング報告お疲れ様でした。白河倉庫様の工事も無事に完了致しました。ありがとうございました。）
　●鳴島三夫会員（９月27日は、結婚記念日です。お祝いありがとうございます。）
　●齋藤孝弘会員（藤田会長、大阪万博楽しかったですね!!また行きましょう。）
　●永野文雄会員（城ｄ'白河実行委員会の皆様12回目ご苦労様です。HM発表の皆様ありがとうございます。）
　●関谷亮一会員（城ｄ'白河実行委員会の皆様御苦労様です。先日のホームミーティングありがとうございました。第３班の皆様ご苦労様でした。）
　●根本あゆみ会員（ホームミーティングではアジアンをご利用いただきありがとうございました。皆さんの楽しそうな声が聞こえて良かったです。）
　●阿部克弘会員（私事で恐縮ですが、８月29日㈮日本テレビの昼に放送されるヒルナンデスで久本雅美さんが那須フラワーワールドに取材で来た時に阿部克弘家族がインタビューされチョットだけ放送されました。感謝です。私のＳＮＳに投稿したのでご覧いただければ幸いです。）
　●富永章会員（誕生祝ありがとう御座います。あまりうれしくありません。）
　●成井正之会員（今週の大谷スマイルは9/3の46号でしたが通算294試合での100号は歴代最速記録です。）
　●山縣栄寿会員（本日もスマイル、スマイル、スマイルさせていただきます。今月もよろしくお願いします。）

【今週の仮メイクアップ会員】
　●8月23日　ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）
　青木大、吉成真五郎
　●8月29日　白河3RC会長会
　藤田龍文
　●9月4日　寒河江RCメイクアップ
　金田昇

▶第1867回例会出席状況　（R7年9月4日）

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	５４名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	１８名
Ⓣ 全正会員数	７２名
Ⓒ Ⓐの出席者数	２４名
Ⓓ Ⓐのメイクアップ者数	０名
Ⓔ Ⓑの出席者数	１６名
Ⓖ＝Ⓒ＋Ⓓ＋Ⓔ（メイクアップ補填後の出席会員数）	４０名
Ⓗ＝Ⓣ－（Ⓑ－Ⓔ）	７０
Ⓘ＝Ⓖ／Ⓗ×100（例会出席率）	５７.１％

本日のプログラム

■会長の時間　藤田龍文会長

皆さん、こんにちは。台風の影響かやや過ごしやすいような気候になってきてジャケットを羽織ってもなんとなくいい季節になってきたような気がします。本日は、お客様いらっしゃっておりますのでご紹介させていただきたいと思います。商工会議所青年部の会長の齋藤さんが実行委員長であります私ども初回から、ずっといろいろ協力してやってきていただいた「ジロデシラカワ」の実行委員会の委員長。そして今日、斎藤様、職業奉仕で欠席ということですので、専務理事の鈴木光顕様。そして、もう「ジロデシラカワ」といったらお馴染みのMJこと緑川順子様。後程、ご挨拶いただきたいと思います。「ジロデシラカワ」も今年で12回目ということなんですが、今年がファイナルということでお知らせいただいております。そして、私ども創立40周年ということですので、40周年記念レースというのを設けさせていただいて、いつもの「ジロデシラカワ」のレースに一つポリオ基金のレースを入れていただいたり、私どもの会として青少年委員会と国際奉仕委員会が二つの委員会が記念事業ということで公共イメージの向上ということで、大住さんのほうで「ロータリアン何ぞや」というようなパネル展をそちらで併設させていただいてるんですね。大竹委員長の国際奉仕委員会のほうではポリオの基金をレースの他にポリオの告知したり募金活動をして、40周年の記念の対外的な事業としますので、11月16日ですね。後程、詳しいアナウンスしていただけると思いますが、そちらのほうも皆さんで多く参加していただければと思います。本日はホームミーティングの報告ということですが、先週の会員増強担当定例会ですが、その後がありましたので皆様にお知らせしたいと思います。先日、地区の会員増強の委員長であります西山由美子様がいらっしゃって卓話をいただいて、そこにオブザーバーとして矢吹の「大竹運輸」の取締役である大竹ゆかりさんがいらっしゃって参加したんですが、終わったあと懇親会も少し開催いたしましていろいろお話した結果、やはり西ロータリーは素晴らしいということで、懇親会の場で入会申込書を自ら進んで書いていただきました。そちらにいつも通り推薦人のお名前もいただいて、入会申込書のほう掲示してございますので、是非とも温かく向かい入れてあげられればと思います。来週、理事会。そして、再来週がガバナーの公式訪問ということですので、できればガバナーの公式訪問の時にガバナーから入会申込書をいただけるというのも大竹さん自身の記念になるかと思われます。ちょうど泉田ガバナーも会員増強はもちろんですが、女性会員の割合を増やそうというのをとても強くやってらっしゃるガバナーですので、ちょうど地区の委員長の卓話があって、その卓話でオブザーバーでついてきた方が入会をしてくれてということで、大変次年度の金田年度の時に向けて良いステップになるのかなと思っております。最後に少しだけこうじゃあ、大竹ゆかりさん喋ってくださいということでちょっと振ったつもりだったんですが、しっかりと留学の話だったり、しっかりお話していただいたり、とてもハートが強い女性でしょうし、アメリカで一年間相当揉まれてきたということでしょうから、とてもロータリーには向いてると。齋藤愛会員に続き、我が西ロータリークラブから留学に行って、留学生が社会人になってロータリークラブに会員として戻ってきてくれるというのは大変喜ばしい事だと思いますし、また尚更そのお二方も女性だということで、ここ最近のロータリーの流れにマッチしたような流れになってるかと思いますので、大変歓迎されることだと思います。本日、ホームミーティングの報告ということで、班長の皆様には大変設営でご苦労いただきました。今回の第一回目のホームミーティングは班長は敢えてパスト会長の皆様にお願いいたしました。1名だけちょっと怪我されたパスト会長いらっしゃったので、その方は大変でしょうということでご遠慮願ったんですが、その他は全員パスト会長にお願いして、書記はなるべく入会歴が浅い方ということでお願いしてみました。もちろん、設営のご苦労があったり、書記の方はそれぞれホームミーティング中も緊張してメモを取ったりとかいろいろあったと思うんですが、皆さんそういった経験を多くされてやってきておりますので、各班で敢えて人数も少なくしました。ですので、12班という数になってしまったんですが、そういった部分では少ない人数でいろいろな先輩方と喋って、そして先輩方も新しく入ってきた会員の方と会話をするというのは、私もロータリーに入会して本当にホームミーティングのおかげで普段こう強面でなかなか喋れない先輩と親しく喋れらせていただける機会をいただいたりそういったのは大変重要だと思ってたので、ホームミーティング次回の2回目は今度それを反転させまして、班長は今度は若い方。そして、書記はさすがにパスト会長というわけにいかないんですが、書記もある程度ロータリー経験が長い方でやっていきたいと思います。昔はご自宅でというのもあったんですが、今のご時世なかなか難しい面はあるかと思いますが、敢えて次回は入会歴の浅い、そしてホームミーティングの場所なんかもちょっと工夫していただいて、皆さんの持ってるそれぞれのネットワークを新たなネットワークを紹介していただくような会場設営なんかも一つういいのかなと思っておりますので、まだちょっと班長のほうはわかりませんが、そういった感じでやってければと思います。今回と次回は、ホームミーティングの報告ということで、書記の方がいろいろと工夫してやっていただけると思いますので、是非ご協力のほうよろしくお願いして会長の挨拶に代えさせていただきます。

■幹事報告　運天直人幹事

○ガバナー泉田征慶、RLI委員長町田晃　:ロータリー・リーダーシップ研究科（RLI）第8期パートⅡ開催について（ご案内と登録のお願い）

○日本事務局業務推進室　:基本的教育と識学率向上月間リソースのご案内

○地区ロータリー財団委員長林克重　:地区補助金申請クラブ振込の案内

○日本ユネスコ理事長鈴木祐司　:2024年度活動レポートの送付について
○月信委員長若原茂　:2025-26年度ガバナー月信9月号から順次掲載しております「クラブ会長」原稿依頼について
○ガバナー泉田征慶、社会・国際奉仕委員長白岩薫　:奉仕活動に関するアンケート調査ご協力のお願い
○県南分区ガバナー補佐大木和彦　:2025-26県南分区泉田征慶ガバナー御夫妻歓迎会−RI2530地区2025-26年度県南分区−
○実行委員長齋藤俊輔　:サイクロロードレース「城d'白河」The Final開催に伴うご協力のお願い

●ジロデシラカワ実行委員会　白河商工会議所青年部専務理事　鈴木光顕様

皆さん、こんにちは。ジロデシラカワ実行委員長代理、白河商工会議所青年部、専務理事の鈴木光顕と申します。本日は例会の貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。そして先日西ロータリー様に商工会議所青年部として卓話お呼びいただきましてありがとうございます。本日は「ジロデシラカワ」のちょっとPRをさせていただきたいと思います。「ジロデシラカワ」のPRをしようと思ってたんですが、龍文会長が沢山PRしてくださったので私何を話そうかなと思っていたんですけれども、西ロータリー様におかれましては当初の起ち上げの際から多大なるご協賛とレースに関するご協力毎年いただいておりまして、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。「ジロデシラカワ」なんですが、起ち上げた時は隣にいらっしゃる緑川順子さんが青年部の現役の時に、自転車を使って白河を良くしよう、白河を盛り上げようとして発起し、そして現在まで12回に至る事業となっております。「ジロデシラカワ」なんですが、先程、龍文会長のお話にもあったように今年で最後のレースとなってしまいます。その最後にレースになってしまう原因としては、どうしても資金繰りの難しい部分であったりとか、人員を集めるのが難しかったりとか、そういう背景もあるんですがやっぱり白河に根付いてきた事業というのを今年ロータリーさん40周年ということもありまして、やっぱり盛大に盛り上げたいというのが我々の根幹にあります。「ジロデシラカワ」最後ということになりますが、悲観することなく西ロータリー様の40周年の記念レースもございますので、「ジロデシラカワ」凄い楽しいレースだったなと、最後の集大成となれるように私たちも努力してまいりますので、今年も変わらず西ロータリー様のご協力をいただければと思います。レースにつきましては、MJこと緑川順子さんからお話させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

●ジロデシラカワ実行委員会　緑川順子様

はい、MJこと緑川順子でございます。なんかこの時期の風物詩と昨年もなんか言われまして、今年初めての皆さんにお会いできて皆変わらず元気そうで何よりでございます。改めまして「ジロデシラカワファイナル」、本当に残念ではございますけれども、最後西ロータリー様の40周年ということで、一緒に盛り上げていただければすごくありがたいなと思ってます。レースに関しましては昨年同様なんですけれども、カテゴリーAということで、ロードレーサーのレース。それから、子供たちのレース。そして、ポリオもそうなんですがちびっ子のランニングバイクのレースがあります。大体2歳ぐらいから上は70歳までぐらいの方、去年は263名の方がご参加いただきました。本当に多い時でしたら400名500名ぐらいいたんですけど、半分ぐらいになっている現状です。そして、ポリオですね。Aカテゴリーチャレンジレースというのがございまして、そのレースはロードレーサーじゃなくても普通のマウンテンバイクしかりタウンサイクル的なものでも参加ができます。それに、ポリオ基金プラス、普通4千円なんですがプラス千円付けて5千円という枠でチャレンジレース申し込めるよというのを二つ枠で作っております。これは誰でも参加可能です。もちろん皆様参加可能ですので、会場でブースで、参加いただいてそこの盛り上げというところもできると思うので、是非ご健闘をお願いできればなと思っております。ということで、最後一緒に盛り上げよろしくお願いします。

■各委員会報告

●雑誌広報渉外委員会　瀬谷隆志委員長

皆さん、こんにちは。それでは、『ロータリーの友』の読みどころをお伝えしたいと思います。まずは横目次のほうで、こちらに今年度開始の1週間前に国際ロータリーの会長に任命されたフランチェスコ・アレッツォ氏のお話が載っております。これを読んでいく中で私は特に印象的だったのが、11ページの右下のほうにあるんですが、ロータリーは映画館のようにただ座って誰かが何かをするのを見るために行く場所ではありません。ロー

タリーは自分が何かをするために関わる場所なのです。参加しなければならないのです。そして、参加してこそ本当に成長は始めるという、非常に心に残るようなお言葉が書いてありますので、皆さんご一読いただければと思います。続きまして、反対側の縦目次のほうなんですが、こちら「生成AIの全貌」ということが書いてありまして、最近AIという言葉がよく聞くんですが、今飛躍的な進展と私たちの仕事に影響を及ぼすんじゃないかというぐらいAIが入り込んでいる世界になっておりますが、そのAIとどのように向き合って共存していくかという内容の事が書いてあります。私も実際仕事でAIなんか、例えば事業計画書なんか入れるとAIがすごい良い精度で作ってくれたりですとか、仕事以外ですと例えば旅行に行くという時に、例えばUSJに行くのに飛行機がいいのか新幹線がいいのかとか、いろんな提案をしていく中、考えてくれるので非常に便利なものとなっております。その一方で考えることが少なくなってきたのかなという懸念もちょっと感じてはいますが、そういったAIの今後の未来を書いてありますので、ご一読いただければと思います。その隣がですね「この人訪ねて」ということで、森絹子さん、川口ロータリークラブの方のお話なんですが、私は存じ上げなかったんですがNHKの体操のお姉さんで活躍されたという方ですので、内容もバレーの話とか載ってますのでご一読いただければと思います。最後になりますが、ポリオウィルスの症例数ということで、2025年7月21日現在、パキスタン14、アフガニスタン2、世界合計16となっております。

●親睦活動委員会　　**白岩修一会員**

【結婚記念日】

鳴島三夫会員、十文字宗博会員

【誕生日】

富永章会員、金田昇会員、長克則会員

■本日のプログラム　　**ホームミーティング報告**

●第1班　　**西山よしえ会員**

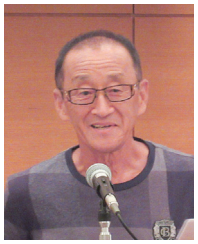
皆様、こんにちは。まず、1班のホームミーティングの報告をさせていただきます。8月29日金曜日の午後6時半よりですね、根本あゆみ会員のお店「アジアン」さんでおこないました。参加者は、矢田部班長、藤田会長、兼子副会長、鈴木典雄会員、書記、西山で5名でございます。青木次年度会長予定者はちょっとご都合が合わず、今回は残念ながら欠席ということでございました。藤田会長は白河3ロータリーの会合がおありだということで、遅れていらっしゃるということでしたので、4名で軽く喉を潤しながらホームミーティングの在り方についてまずは話し合いをおこないました。まず、やっぱりグループを今回は数多くしていただいたということで、参加メンバーが話がしやすいというようなことがやはり良かったというご意見がありました。あと個人的に日程調整も比較的おこないやすく参加率も上がるのではないかなというふうに感じております。そして今回は、パスト会長が班長をおこなっていただいたということで、やはりホームミーティングの在り方というかそういったところですね、身を以て示していただけたのかなというふうに感じております。次は、若手が班長ということでございますけども、西ロータリーは現在は数年前から参加費用は割り勘にしているという背景もありますけども、他のクラブではホームミーティングにクラブから補助が出ているところもあるということもお聞きしましたので、より開きやすい体制というところが求められていくのは確かかなというふうに感じています。また、もともとは班長さんがおもてなしをしていたという歴史をお聞きして、その班長さんのカラーといいますか、そういったところが出せるのがホームミーティングというところで、人をこうもてなすというところのやはりそのやり方ではないんですけども、そういったところを実践して学ぶ場としてそういう設えがあるのかなと若輩者の私としては理解をしました。また、先日の米沢中央ロータリーからの訪問ということで、公式訪問の内容の時にちょっと私、例会に参加することができませんでしたけれども、内容としてロータリーの歴史的な背景だったりギャップというところを矢田部班長からお聞きすることもできたので、そういったホームミーティングで例会のフォローなどもしていただけると非常にありがたいのかなというふうに感じました。藤田会長も合流されまして改めて40周年の記念としておこなってみたい事ということで、話し合いがされましたけども、まず思いとして会長からお話しをいただきましたけども、まず皆さんからこうお声をちょっと集めてですね、思いを一つにしていきたいのかなというところをですね、感じ取ることができました。ご意見としては、やるべきことが沢山あるということで、そちらの体制づくりというところをおこなっていかなければならないのではないかというご意見がありました。矢田部班長が、これから3つの研修運営というところを担っていらっしゃるというところで、やはり事務局として総務の力が大変これからも重要であるということで、それぞれこれからの密な研修の組織化というところで、より明確に役

割分担がされていくのかなというふうにお話を聞いて学ばさせていただきました。内容としてはそのような形でありましたけども、藤田会長と典雄会員、兼子副会長が幼稚園から高校まで同じ学校で卒業されていたという先輩、後輩の関係性というところを知ることができまして、始終同窓会のような和やかな雰囲気でホームミーティングが進んでいきました。特に印象に残っておりますのが、白河二中時代の山縣先生の武勇伝でありまして、今、私としては朗らかな先生の印象しかありませんけれども、そういった現役時代を知る機会ということにもなりまして、ホームミーティングだからこそそういう距離感を感じる話題が出てくるのかなということで、いい夜だったなと思いました。矢田部班長初め、ご参加の皆様には、書記の私が一番頼りなく申し訳ない気持ちもありましたけれども、温かくフォローしていただきましたことを、心より感謝いたしまして1班の報告とさせていただきます。

●第2班　　吉成茂会員

第2班の発表をさせていただきます書記の吉成です。よろしくお願いします。まず第2班は8月26日金曜日に、6時半で「美国」でおこないました。班長は前原さん。そして安部さん、成井さん、須藤さん、堀田さん、そして私の6人でおこないました。早速ですけども、テーマ1の40周年記念としてのロータリーでおこなってみたい事。これは先日の例会で私思ったんですけども、1986年というのが私の生まれた年にこの西ロータリーというのが作られたんだなというふうに思いました。私、来年40歳なんですけども、当時父がチャーターメンバーだったんですよね。なので、父がそういえばいなかったなというふうなのを記憶にございますし、私7月22日の朝5時に生まれたんですけども、城南先生から「清志、そろそろ長男が生まれたから来い。」って言って夕方の5時に来たんですよね。なんかそういうふうのをちょっと思ったところでした。わたくしごとでありましたけども。まずですね、このロータリークラブでおこなってみたい事というところが、まず行ってみたいなのか、おこなってみたいなのかという話から始まりまして、安部先生がすすき野に行きたい。国分町に行きたいというふうなお話から始まりました。まず、行く所なのか行うなのか、どっちなのかというのでこれでまず5分10分使いました。その後ですね、真面目なお話になりまして、安部先生が大人数で盛り上がることをしてみたい。そして一致団結が必要だというふうなお話がありました。ただ、具体的にはまだ何をやるかというのはわからないですけども、先程お話したようにどこかに行きたいというところも周年としていいんじゃないかなというふうな話になりました。その後いろいろお話したんですけれども、途中から健康のお話ですとか病院のお話とかになりまして、ちょっといろいろ脱線しまして少し時間が空いたの後に成井さんがChatGPTを使用してプレゼンしたいというお話がありまして、こういろいろと資料を作っていただきました。その資料の中に成井さんもそれまであんまりこの資料を読み込んでなかったのか、こう地域貢献プロジェクトですとか、ロータリーフェスティバルというようないろいろなお話はあったんですけども、ちょっと途中から何なんだろうこれっていうようなご自身で何かわかんなくなってちゃったので、とりあえずこのChatGPTというのはあまりこう参考にならなかったんですけども、そういったお話で進んでおりました。最後に記念植樹ですかね、私も全然ちょっとロータリーのことはわからないんですけども、当時記念植樹とかをしたというふうなお話がございまして、そういったところもやってもいいんじゃないかなというふうなお話でまとまりました。わたくしごとではあるんですけども、私去年白河青年会議所で第66代理事長をやらせていただきました。白河青年会議所というのは、〇周年とか〇5周年、60周年とか65周年で記念式典、記念事業をおこないます。わたくしは65周年の時の企画室長。企画を運営する担当でございました。その65周年の時にですね、地域ですとか、他の地域の感謝の意を込めて地域資源を生かした県内外の関係者を含む200名近く参加でのゴルフコンペを「グランディ」でおこないました。これをやるというわけではないんですけども、じゃあやはりこういった地域貢献ですとか、そういったところも周年としてあっても面白いんじゃないかなというふうに思いました。続きまして、テーマ2のホームミーティングの在り方なんですけども、そちらも先程成井さんがChatGPTのいろいろな資料用意していただいて、本当にいろいろと活発な意見交換をしたんですけども、やはり最終的に家でやることが大切なんじゃないかなという話で進みました。ただですね、やはり奥様に夕食を作ってもらえるのかですとか、あと家でおこなうのは何か問題が起こるんじゃないかという懸念点もございまして、結果可能な方は家族でおこなうほうがいいんじゃないかなというふうなお話でまとまりました。やはり、私も小さい頃から父が、家でなんかホームミーティングやってるなという記憶がございますし、やはりそういったところのご家族の方、子供等もですね、やはりこういうふうな方達と、私個人的に小さい時からいろんな方と出会えて良かったなというふうに思いますので。最終的にこうまとまったというのは、やはりこのホームミーティングをやることにですね、一番大切なのはこの家族にこのロータリーとはどういうものなのか知ってもらうということが大切じゃないかなとまとまりました。私ももし班長とかやりましたら、出来る限り自宅でホームミーティング出来るようにちょっと妻に説得したいかなと思っております。2班の発表は以上となります。ありがとうございました。

●第3班　　山縣栄寿会員



3班は、8月19日に「アジアンチャオ」さんのほうでやらせていただきました。司会者は吉田充さんで、書記がわたくしで、あとは中目さん、車田さん、関谷さん、増子さん、計6名でおこないました。協議内容に関しましては、40周年の記念としてロータリーでおこなってみたい事ということで幾つかあがったんですけども、一つ目は会長特別なことやらないって言っていましたけども

会長のやりたい事を尊重すると。二つ目が、各実行委員会の委員長さんのやりたい事があればそれも尊重すると。そうすれば、会員は動きやすいという。三つ目は、30周年の時もなんかそうであったが、チャーターメンバーに設立時の卓話をやっていただいてはどうかと。また、この時は関川寺に記念の看板を設置したり、タイのラオスにも行ったと。あと、CKB野球の優勝旗を作ったと。四つ目なんですけども、そんな中40周年実行委員の中目さんのほうからちょっと良い提案がありました。20周年の時ですね、石田さんが南湖に16勝17景の看板、景勝碑を建てたと。「南湖十七景詩歌碑」というものだそうです。南湖碑というものだそうです。一つの提案としてちょうど20年経ってきていたみもきているので、その景勝碑の解説文をその石碑の前に新たに掲示の看板として立ててみてはどうかと。現在、それと同じようなものが一つだけというものがあって、藤田新次郎さんという方の景勝碑の前にあると。ちょうど今で言うと、天神町と中町の境にある「川島歯科医院」さんの建物が建てられている前に住んでおられた大庄屋さんでもあったということです。費用的にもこれ立ったとしても20万から30万位ではないかと。文章の内容は文芸委員の佐川さんにお願いすればいいんじゃないかという案が出されました。あとは周年行事で熱くなれる人がいたということで、20周年の時に石田さん、30周年の時には林さんがおられたということで、40周年目は誰なのかなと。そういう方がいられると、なんかスムーズに進んでいくんじゃないかなという話が出てきました。ホームミーティングの在り方につきましては、班編成はこの数名ぐらいで大変良かったということでした。ただ、これは毎年出てるかと思うんですけども、報告会に関しては1回でよいのではないかという話が出ました。1班3分で終わらせて12班であれば約40分くらいで、その後またプログラム委員長さんはその編成をまたしなくちゃいけないので大変かなとは思いますけれどもそういう話も出ました。あとは酔いが回ってきて増子さんと車田さんと吉田充さんから提案がありました。今年の秋から初冬にかけてですか。100%出席例会の開催やってみてはどうかと。過去にもやったことがあるし、周年に向けて日にち合わせて、その会場で班に分かれて。一度ぐらい会員全員出席の会があってもいいんじゃないかということで。じゃあ、どこでやるんだということになったらば、南湖の芝生でいいだろうということで。じゃ、雨降ったらどうするんだということで。テントでもなんでも持ってくから大丈夫だとかなんて言ったんですけど、本当かななんて思って聞いてたんですけども。あとは吉田さんのほうからは「お前ら二人普段も例会出席しないのに来れるのか。」ったらば、「絶対、来ます。」って言ってましたけど。またそれを聞いていた私も飲んだ席での返事だからなって思って聞いていたんですけど。最終的には、なんかどこか室内の施設でやってみてはどうかという案になりましたので、ご検討いただければと思います。あと最後に余談になりますけども、回復された中目さんは一日の塩分量6g前後に抑えてるということでした。関谷さんは野菜作るのは好きなんだけど、意外と食べるのはあまり好きじゃないなんて仰っていました。確かに、生産者の方ってそういう方多いよなっていうような気がしてきましたし。あと吉田さんは意外と昔ながらの煙を噴き出すタバコ好きなんだなってわかりました。銘柄はちょっとわかりませんけども。あと、増子さんは体重3桁になったそうです。右耳が突然突発性難聴になってから、飲む時はアルコールとウーロン茶を交互に飲むといいんだとか言っていました。これも本当なのかなっていうのが。車田さんは7月17日にヘルニアの手術をしたそうです。だけども、お酒と電子タバコ吸ってらしゃったので大丈夫かなということの思いもありました。

●第5班　　**齋藤愛会員**

第5班のホームミーティングの報告をさせていただきます。第5班は、山口会員、齋藤会員、長会員、緑川会員、私の5名で、会場は8月25日に「タントゥ」でおこないました。石川さんがちょっと都合がつかなくて欠席ということになりました。この5名という人数は、本当に全員で会話ができる適切な人数設定でとても良かったんじゃないかなというふうに思っております。まず最初の、テーマ1の40周年記念としてロータリーでやってみたい事についてということなんですけれども、まずは、今までの周年事業を何をしてきたかというようなことは、長くロータリーに所属してる方々からいろいろお話を聞いて思い出しつつ振り返りつつというところから話が進んでいきました。この40周年事業ということで、単発事業がいいのか、継続しておこなっていく事業がいいのかなんていうことにも思案しながら話し合いが進みました。その中で40周年事業にはまず会員の100%出席を目指した働きかけをしてみたらどうでしょうかというような意見ですとか、あとは40周年記念に記録に残すために記念誌の発行などの検討もどうでしょうか。あとは、小学校の体育クラブとか文化部おこなってると思うんですけれども、そういった子供達への寄付なんかは検討してはどうでしょうかということ意見も出ました。あともう一つ、これが一番皆で盛り上がった周年事業についての意見だったんですけれども、子ども食堂、ちょっと豪華な子ども食堂の開催なんかはどうかなという意見が出ました。子ども食堂については、市内でもう既に何箇所かおこなっている取り組んでいらっしゃる方いらっしゃるんですけれども、ロータリーの周年事業としてはクリスマスという時期に合わせて季節感だったりとか特別感を盛り込んだ内容で展開できればいいのではないのかなという意見が出されました。続いて、次にテーマ2のホームミーティングの在り方についてなんですけれども、皆さんホームミーティングはこういう形でいいんじゃないかなというご意見でした。その中で、山口会員からは自分はホームミーティングがあることによって、ロータリーの会員さんにすごく親しみを持ってロータリーに残ることができた。だから、このホームミーティングがやっぱりロータリーを長く続けていく時の要になる会合なんじゃないかな。会員の方達同士が理解しあう良い機会だから、なるべくこういう形で続けていったほうがいいなという意見が出されました。また、要望としてなんですけれども、ホームミーティングで話し合われた意見が少しでもその年だったり次

年度だったりの会の運営に反映されるというふうになってくると、なお活発な意見が出てくるんではないかなという感想が出されました。人間関係の構築だったり、しっかりとした話し合いだったりとか、時間の共有がホームミーティングによって参加することによって一体感というか、みんなでロータリーを盛り上げていこうということに繋がるんだなということを私も実際に参加して思っています。自宅を開放しておこなう伝統的なホームミーティングの開催っていうのが、だんだん負担が大きくなって敬遠されてきているようですけれども、私個人としては計画だったり参加する人が楽しみに時代と共に形を変えて存続していく継続していくことで、それが会員の方達同士の親睦だったりロータリーが盛り上がる原動力になっていくというふうになっていけば、全く問題はないんじゃないかなというふうに思いながら参加をさせていただきました。美味しい時間と本当に楽しい会話と、ホームミーティング年に2回ですけれども、次回は新人が会場設定ということなので、ちょっと今からなんてことをしてくれるんだと会長思いましたけれど、今からどんな会場にするのかちょっと思案を巡らせておきたいと思います。5班の発表は以上になります。

●第6班　　**鶴丸彰紀会員**

第6班ホームミーティングの発表をおこなわせていただきます。班長のほうが、鳴島パスト会長。書記が十文字宗博さんであったんですが、実は10月にめでたく次の子供の出産前ということで、ちょっと今多忙で例会に出れそうにないということがありまして、だったらということでわたくし喜んでじゃあ代わりましょうという話にしたんですが、先程の会長の話で新しい方が書記にということであれば、実は菊地隆博さんが同じ会に入ってたんでそうすれば良かったなと、今になってから後悔しております。ということで、班長、鳴島さん。書記、十文字宗博さん。メンバーのほうが、渡部勝也さん、佐川京子さん、菊地隆博さんとわたくしという6名で全員出席で、8月25日の月曜日、渡部さんの「カフェ･ド･タントゥ」でおこなわせていただきました。内容なんですけれども、まず40周年事業としてやりたい事という中で、これは渡部さんのほうから過去5年ごとの周年事業の一覧表を作っていただいたのをお配りいただきまして、期の若い方もそうですけども、わたしなんかが見ても知らない事だらけのことで非常に参考になりました。各年度でどのような事業をやったのかですとか、またその事業が現在はどういうふうに繋がってきてるのか。それはまあ廃れてしまったものもあれば、未だにちゃんと継続してるよというものもやはり期の古い方というか、諸先輩方からご説明いただけることで非常に参考になった会になりました。その中で、過去の実績としては植樹や講演会、南湖公園のてんぐ巣病の退治ですとか、漢詩の看板の設置。また、小峰城のベンチの修繕ですとか、姉妹クラブの提携、チャリティコンサートとか、海外支援ですね。図書を配ったり、あとはランドセル最近ですけども、また、30周年以降続いてますCKBの事なども含めて開催となった経緯ですとか、その後どうなってるかということを非常に詳しく教えていただきました。今期については、植樹と同じように花を贈るような事業、花時計ですとか、あと白河市役所の北駐車場にバラを植えるなんてのどうかとか、いろんな話が出てきました。それ以外には、以前からもおこなっておりますけども楽器の寄贈ですとか、学校や幼稚園に大型の扇風機とかの熱中症対策品ですとかそういった物を送るとかどうかとか。あと、前に一度やってるとは聞いたのですが、瀬谷会員がやってらっしゃる子供向けの支援事業みたいな形の所に支援できるようなことが絡められないかなとかという意見が出てまいりました。次に、ホームミーティングの在り方という議題に移ります。現在のホームミーティングのやり方がこれが一番やりやすいなという意見で最終的にはまとまりました。今回のように期の長い諸先輩とゆっくり話せる機会ってなかなかできないというかなかったので、非常にありがたいというふうに、やはりこれホームミーティングの良いところかなと私も思っております。回数としても、この年に2回くらいというのが非常にいいかなと。最近会費の負担が以前のように班長さん任せにならないというところ、参加してるメンバーとしても非常に気が楽になってますし、いいということの意見がありましたので、現状の会費の形がいいと。あと、さっきの班でも仰ってましたけども過去にやってらっしゃいました奥様会ですとかの話も聞いたんですけれども、こちらの自宅開催とかも非常にメリットは沢山あると思うんですけども、少なくても負担が少なくお店でやるというメリットはやはりあるよねということで。気兼ねがなくみんなが集まれるというメリットも仰ってました。あとは、それこそ今お話してるような各班の発表を冊子化して作れないかなんていう意見も中では出てきたんですけども、翌週の週報に記載されるので十分かなと。書記担当が綺麗な原稿を起こしてくださいねとか言われる羽目になるといけないので、それについては反対ということで言ってあります。はい。以上で今回は6班「タントゥ」さんのほうで、お料理も可愛くおしゃれで、別班と一緒でやりましたので貸し切り状態で毎度のことながらやらせていただいたので大声で喋ることもできまして、3時間以上かけてゆっくり親睦を深めることができました。ありがとうございます。

●第8班　　**佐藤弘会員**

8班のホームミーティングの発表をおこなわせていただきます。私、昼例会初めて今回参加するんですけれども、雰囲気違うのかなと思ったらいつも通りの雰囲気でちょっと安心しております。8班のミーティング参加者ですが、班長、吉野さん。それから、運天さん、佐藤礼子さん、中嶋さん、村上さん、そして書記の私の6名の参加でございましたが、当日は、吉野さん、運天さん、それから村上さん、書記の私の4名という運びとなりしたが、ちなみに、私としては少人数であれ話しやすい雰囲気でとても楽しい会であったことを記憶しております。まず、40周年記念についてのお話というところで、最初にホームミーティングの在

り方からお話をさせていただいたんですが、40周年記念後半にお話したところ、私その周年記念というのがあまりこうなかったものですから、普段どういうのをやってたかというのを最初にお話のほうから始まっておりました。最初に、冗談ではあるんでしょうけどほぼ幹事の方が何もしないというのは1つだよねなんていうところ言って、「あっ、そうなんでうか。」って言ったら、いや、それは冗談だけれどもって言われて、私ちょっと真面目に信じてしまったんですけれども。その中で、40周年やるにあたって普段どういう事やってたんでしょうかなんて興味本位で私聞いたところ、ヘリコプター飛ばすというのは周年記念でやったことなんでしたかね。そういうヘリコプターなんか飛ばしたことがあるなんていうお話も聞いたので、非日常的な体験で私したことないので、そういったところ面白いななんて思いながら聞いておりました。実際、私、高い所も狭い所もちょっと苦手なもんですから、気絶するのかなという感じがしましたが。とにかく面白い事をやるというのが私としてはすごく興味深い事ではあったので、具体的なところのお話というのは正直ちょっと出なかったんですが、何か40周年記念に向けてそういった面白い事楽しい事というのは一つやってみたいなというのは私の頭に残ったところでした。ホームミーティングの在り方というところなんですけれども、当日先程お話したように6人中4名の参加ということだったんですが、私としては前回、今回で2回目なんですけれども、最初に参加した時に6名の参加だと記憶しておりましたが、なかなか入会して間もないというところもありましたので、なかなか会話のほうに参加できなかった。どちらかというと、食べながら話を聞いていたというような感じでちょっと終わってしまったなという雰囲気の中で、前回の2回目につきましてはすごく人数も少なく、話のほうについてはうまく会話のほうに混ざれたかなという感じがしておりました。ホームミーティング実際私子供の頃、父のほうが実際に自宅で開催したという記憶が1回ございまして、ホームミーティングって自宅でやるもんなんだなって思ってはいたところ、近年はどこかお店を取ってというところもあったんですが、ホームミーティングっていうところでいくと、やっぱり自分の家でそういったところをもてなすことで、その家でやることで人となりもわかるのかなという、ホームミーティングをやる意義も多分あるのかなと思いましたが、人数的なところは最初もう少し大人数でもいいのかなとはお話になったんですけども、まあ終盤につれて少人数でやるというのも一つ会話の輪に新しい方が混ざれる利点もあるのかなといったところ。私も実際そういう体験、感じがいたしましたので、在り方とすれば少人数でやるというのはやはり人数調整、日程調整もしやすいし、会話の輪にも入りやすいというところで、私としては少人数今後同じく継続するのはありなのかなという感じはいたしました。最後に、すごく皆さん会話の輪に混ざらせていただいて大変為になる、吉野さんもすごく親切に対応していただいたり、運天さんのほうも冗談交じりにお話とかさせていただいて、すごく楽しい会でございました。最初に、今日発表なんだよねって、変な事言うなよって言われたんですけど、変な事言う暇もないぐらいちょっとだいぶ緊張した時間ではありました。8班については、8月21日ですね。6時半から「アジアンチャオ」にて開催のほうさせていただきました。とても楽しい会でございました。

●第9班　　島田修一会員

第9班のホームミーティングの報告をさせていただきます。ホームミーティングのほう、実は昨日、根本会員のお店「アジアンチャオ」にて開催いたしました。班長が鈴木孝幸パスト会長。メンバーとして、永野さん、遠藤さん、諸橋さん、そして私。書記は本来であれば近藤勝人君が行う予定でしたが、昨日急遽欠席となってしまいまして、遅参した私が行った所、もう書記代行というふうに決定となってまして、余計なことは話さないで次に行きます。ミーティング内容としましては、まず40周年記念としてロータリークラブでおこなってみたい事ということで、20周年30周年では講師の先生をお呼びして講演してもらったことがメインだったと記憶しておりますが、40周年では今までの内容を踏襲する必要はなく藤田カラーを出していいんではないかというご意見がございました。また、来年度は金田ガバナーを輩出する年でありますので、世界大会も台湾ということで比較的行きやすい場所ですので、40周年記念旅行として多くのメンバーで参加することで、会員同士の親睦を深めるのに有効な手段ではないだろうか。また、当ロータリーから初のガバナー輩出へ向け、台湾の世界大会で藤田会長と金田ガバナーエレクトを盛り上げていきたいという意見がございました。そして、遠藤会員がそろそろ終活を迎える年となってきているので、遠藤会員がコレクションとしている甲冑や火縄銃が多数ありまして、甲冑に関しては50領ほどあるということで、このまま残すと相続税が大変気になってしまうので、40周年記念事業として会長とも関係の深い文芸委員の佐川さんと相談して、どこかに贈呈とか寄付とかできないかというご提案がございました。最後に、今回同じ班であります永野さんがチャーターメンバーで40年間100%出席ということで、こういった功績を讃える場を周年事業として設けてはどうかというご意見がございました。続きまして、ホームミーティングの在り方。以前は班長のご家庭や会社などでおこなっていた時代もありましたが、時代も変わっているので今のような飲食店で割り勘形式で行うのが良いと思う。昔のようなやり方に戻してしまうと、豪華の競争になってしまうようなところもあるので、今のようなやり方がいいのではないだろうか。また、自宅や会社でホームミーティングをおこなったほうがいいのではないかという意見もございまして、可能な会員の方がいらっしゃったら、事前に家でやってもいいよなんていう意思のある方を募って、その方の自宅等で行う方法もあるのではないだろうか。例えば、車好きのホームミーティングのような趣旨でその家庭のガレージで行うとか、または、宿泊を兼ねてより親睦を深めるようなホームミーティングもあってもいいいんじゃないかというご意見がございました。急遽、書記代行だったものでたいした発表にはなりませんが、これで9班の発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。